



主任児童委員制度30周年を迎えて ～主任児童委員の活動紹介～

秋田県民生児童委員協議会
(県民児協) ホームページ

民生委員・児童委員(区域担当委員)は「地域の見守り役」「地域の身近な相談相手」「専門機関へのつなぎ役」として、高齢者や障がい者、子どもやその家族からの相談を受け、適切な機関につなぐ役割を担っています。

平成6年1月、児童委員活動の更なる推進を図るため、子育て支援や児童の健全育成など児童委員活動を専門に行う「主任児童委員」制度が創設されました。今回は、子ども達の「身近な大人」として、学校や関係機関と連携しながら地域で子どもの成長を見守り、子育てを応援する主任児童委員の活動を紹介します。

子育てサロン開催しています

秋田市仁井田地区民児協

主任児童委員 内出 由佳

男性委員も活動しています

三種町民児協 山本支部

主任児童委員 三浦 清美

主任児童委員を経て、区域担当委員へ

横手市朝倉民児協

現民生委員・児童委員 小原 美子

●現在の活動

仁井田地区民児協主催の子育てサロン【ほっぺの会】は、コミセンを主会場として年10回程度行っています。対象は妊娠中の方々未就学児とその親としています。季節の行事を取り入れた工作や絵本の読み聞かせ、童謡を歌っています。その他、救命救急講習や地域のこども園と連携して行事に参加しています。また、茶話タイムも実施、参加者のリフレッシュにもつながっています。



●活動や地域への思い

私は、東日本震災直前の2月に、3歳の長男と5か月の長女の子育てをしている中、他県から秋田市に転入しました。知り合いもほとんどいません、震災が起き、地域のことが分からず不安でした。当時、私は民生委員という言葉すら知りませんでした。多くの人に【子どもに関する専門の身近な相談してもいい人】がいることを広めていきたいです。

地域の子どもたちの「身近な大人」になりたいと思い、母校である森岳小学校の『森小子ども見守り隊』の一員として活動しています。



一番の活動は、毎朝の集団登校の見守りです。集合場所から学校まで約2kmの通学路を交通安全の旗を振りながら一緒に歩きます。子どもたちにとっては、今日の一日が始まる大事な時間です。子どもたちが気持ち良く一日をスタートできるよう心がけています。事故無く元気に学校生活を送ることを願っています。

●現在の活動

令和元年から民生委員・児童委員を務めましたが、前主任児童委員が退任され、私が児童部会の部会長だつたことから、令和3年より主任児童委員を務めています。

平成13年に主任児童委員に就任しました。朝倉民児協の一員として、小学生下校時の見守り活動を行っています。また、朝の交通量が多い国道を渡る子ども達を見て、登校時の見守りを私自身の活動として毎日行い、現在も続けています。

子ども達が安全に登下校できるかハラハラしたり、登校途中に具合が悪くなつた子のお世話や学校への連絡など様々ありました。「おはようございます」と元気なあいさつが帰ってきた時はとても嬉しく、良い一日のスタートとなっています。

●現在の民生委員・児童委員活動

訪問活動を続ける中、転居された方が娘さんと一緒に挨拶に来られた時は嬉しさと寂しさを感じました。近年、私の担当区域は住宅とアパート建設が多く、住民の把握が難しい状況です。子ども達の見守りや学校運営委員の活動を通じ、親御さんとも交流し、地域を知る活動につなげています。

